



江頭真紀子先生

このテーマは、以前からボランティアの方より「認知症に関する学習会をして欲しい」との要望をいただいていたものです。進む高齢化を背景に、どなたにも身近にある避けて通れない問題ですので、皆様には高い関心を持って参加していただけたようです。今回は事務局含め、総勢三十五名の参加があり、また遠路「ほえみ佐世保」より、石田光俊代表理事をはじめ、五名の方々もご出席いただきました。

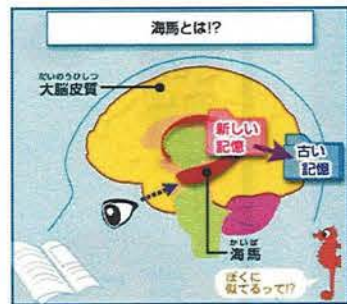
江頭先生には、聴講者に質問を交えながら丁寧に説明していただきました。

「認知症」の心を理解するために

周辺症状は改善される 【第36回ボランティア研修交流会】

第三十六回ボランティア研修交流会を、二月七日(日) 十時から、小倉リーセントホテルにて開催いたしました。

講師には、江頭真紀子健和会町上津役(まちこうじやく)診療所所長をお迎えして「『認知症』の心を理解するために」という演題で講演をしていただきました。



(インターネットより)

認知症とは・・・

後天的な脳の気質的障害により、いったん正常に発達した知能が低下した状態のことをいいます。

認知症には、アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症があり、認知症の原因は

記憶の中枢

海馬について

「海馬」とは、脳の中で記憶の整理を担う器官です。別名、形が似ているので「タツノオトシゴ」とも呼ばれています。

海馬の役割

「海馬」の役割は、重要な情報と、いらぬ情報を選び分ける事です。

「海馬」の神経細胞は数ヶ月で生まれ変わります。刺激のない環境では、「海馬」も小さくなってしまいます。

「海馬」は、使われる事により鍛えられ、膨らみ記憶力を増大する事ができるのです。



記憶の障害

物忘れが多くなる。

見当識障害

自分が誰でどこにいるのかが判らなくなる。

判断力の障害

物事を理解する力や計算ができなくなる。

行動の障害

日常の計画・実行ができなくなる。買い物してから、食事の準備をするなどの一連の流れが困難になる。

認知症の人への理解と心構え

認知症の人は、過去にそれぞれの人生があり、今の自分の立場が不安で困惑しています。快・不快を感じる心・悲しむ心もあります。相手の言葉や態度に含まれる好意、悪意もわかります。

認知症の人への対応や接し方

寄り添う気持ちで誠実に対応し、言葉でなく笑顔、手を握るなどのコミュニケーションが大切です。相手の話を聞く事や、否定語は用いない、命令しない、説

得しない、相手を困らせるような質問はしない等の理解と心構えが大切です。徘徊をするのは不安で自分の家(昔住んでいた)に帰りたくてしようがないのです。

夜、眠らないのは、昼夜のリズムが逆転しているためなので、運動や仕事を与えて、生活のリズムを整えてください。排泄物で布団や部屋を汚すのは、そのままにされて気持ち悪いからです。ポータブルトイレに定期的に座ってもらいましょう。



などとわかりやすい言葉で講演をしていただきました。最後に「認知症に有効な薬はありません。でも理解と心構え、対応などで周辺症状は改善されていきますので、愛情をもって接してください」とお話しされ講演をしめくくりました。その後、質疑応答が活発に行なわれました。

話の輪が広がる

「変わった味の桜餅」

部会
二流
第交

午後からの交流会は、ほえみ佐世保の石田光俊代表理事より、ご挨拶をいただき、小倉事業所のボランティア高田雄三様の乾杯で始まりました。

各テーブルでは、皆さんボランティア送迎時のエピソードなどを披露して、各テーブルに話の輪が広がっていました。

その後は、毎回恒例の食事をしながらゲームを楽しんでいただきました。

今回は握力計を使ったゲームと、「変わった味の桜餅」を食べたのは誰かを当てていただくものでした。各テーブル毎に豪華景品を？をかけて競っていたいただき、あちらこちらで歓声と悲鳴と怒号？が上がっていました。



質問されてビックリ！！

今回、研修交流会に参加されたボランティアさん2名の方に感想文を頂いたので紹介します

感想文
八幡事業所 ボランティア
橋爪 勝彌さん

家族で話し合う事も必要

恒例のボランティア研修交流会に参加して、会場の立派な事又参加者の方の多さに、まず感激しました。

第一部の江頭先生のお話は、「認知症の心を理解するために」というお話でした。このお話を聞きながら自分の認知症についての知識の足らなさに恥じ入るばかりでした。
自分の母を七年前に亡くしていますが、その時今でいう「認知症」の様子が出せの！当たったかなあ



握力・・・ピッタリ当てよう！



かんばしい
小倉事業所ボランティア
高田 雄三氏

ていきました。お話を聞きながら、「アアーこんな状態があったなあ」と思い当たります。
もう少し自分に知識があったなら「ああもしたのに」「こうもしたのに」と後悔しました。

お話で、「その人の立場の理解」又「対応にも十分気をつけて」言われており、今後私たちが家族でいざれこの件を話し合う事があるうかと思っています。
その時、今日聞いた事を思い出しながら対応しようと思っっています。

第二部では事務局の方々の機知に富んだゲーム等があり、グループ毎の皆様や私たちのグループが一位と決まった瞬間、拍手拍手で又桜餅のアンコ当てでも、皆さまの演技が素晴らしく楽しい時間でした。

この様な有意義な時間を作っていただいた事に感謝いたします。

感想文

八幡事業所 ボランティア
赤木 槇男さん

積極的に物事をとらえて
いききたい

初めて、研修交流会に参加して、感じた事は、ボランティアをして一人一人が、何らかの形で社会の苦しんでいる方々の役に立ちたいという深い思いやりが、皆さんの心の中にある事を感じました。
江頭眞紀子先生のお話も、認知症の方をケアするうえで必要な知識を得ることが出来、大変有難く思っています。
私もなるだけ認知症にならないよう、すべてに積極的に物事をとらえていきたいと思

研修交流会スナツプ集

食事をしながらの交流会も皆さんと初顔合わせではありましたが、気持ちよく皆さんと駆け合う事ができて、大変よかったです。ありがとうございます。
まだ私も若いので、いろいろとすることもありますが、出来る限りボランティアには積極的にしていきたいと思っておりますので皆さんよろしくお願ひ致します。



おいしい桜餅はど〜れ??



サプライズ?!どっきり!!
事務局の誰かが
食べた桜餅の中に・・・?



今回、おいしい桜餅を手作りしてくれた、小倉事業所のボランティア芳井さん夫妻



「ほえみ佐世保」の皆さん

